

## 会 議 録

会議の名称	平成28年度 第1回生涯学習推進センター運営協議会
開催日時	平成28年9月30日(金)午後1時30分～3時30分
開催場所	所沢市生涯学習推進センター エンカウナートルーム
出席者の氏名	古敷谷千賀子、鎌滝紀和、磯村修世、山田英徳、須賀聡
欠席者の氏名	安藤聡彦、榎田二三子、宮本八重子
説明者の職・氏名	なし
議題	(1) 今年度の生涯学習推進センター事業の経過報告について (2) その他(センター運営全般について)
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1 事業経過報告について</li> <li>・資料2 センター概要書(平成28年度版)</li> <li>・資料3 事業案内チラシ</li> </ul>
担当部課名	<p>教育委員会  教育長・内藤隆行、教育総務部長・美甘寿規</p> <p>教育総務部生涯学習推進センター  所長・倉富恵理子、副主幹・糟谷実、副主幹・小暮広史、主査・山本裕之</p> <p>電話 04(2991)0303</p> <p>教育総務部文化財保護課  文化財保護担当参事兼文化財保護課長事務取扱・木村 立彦</p> <p>教育総務部社会教育課  課長・安田 幸雄</p>

様式第 2 号

発 言 者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	事務局の司会により開会した。（ 1 3 : 3 0 ）
教育長	教育委員会を代表し教育長あいさつ 様々な事業を通じて生涯学習と学校教育とも繋がってきている感がある。
会長	会長あいさつ スケジュール調整が困難で事務局に負担をかけたが、活発な意見交換で実のある会議をしていきたい
	（運営協議会条例第 6 条により会長が議長となる。）
事務局（所長）	議事に入る前に事務局職員及び出席者（部長、文化財保護課長、社会教育課長）の紹介
議長	議 事 （ 1 ）今年度の生涯学習推進センター事業の経過報告について 議事に入る。 事務局より説明をお願いする。
事務局（所長）	今年度上半期の事業報告と今後の予定について、各担当から説明するので、ご意見をいただきたい。
事務局	（各事業について担当リーダーから上半期実施事業と今後の予定を説明した。 情報提供事業 生涯学習推進情報紙の発行、生涯学習ボランティア人材バンク、生涯学習まちづくり出前講座等の報告と今後の事業予定について説明。 学習講座事業 市民大学、大学連携共催セミナー、市民教養セミナー、暮らし応援講座、資格取得講座、障害者 IT 講習会、子ども・親子学習講座、官学連携委託講座等についての報告と今後の事業計画を説明。 ふるさと研究事業 企画展示、講座体験学習会、三ヶ島霞子資料室の運営についての報告と今後の事業予定について説明。
事務局（所長）	補足であるが、市民教養セミナーでは「シニア世代の地域デビュー」をテーマに、

	市民活動支援センターと共催して地域活動についての講座を開設した。また12月4日に「人が集まる企画の作り方講座」として、地域活動をする方たちのスキルアップを応援する講座を予定している。
議長	委員の方から質問・意見を伺いたい。
委員	市民会議と相続のNPO 団体をやっている関係で生涯学習推進センターと市民活動支援センターと両方に関わっている。どちらも市民が交わられて、いろんなことを知ることができる場所として、ぜひこれからも連携して行ってほしい。
委員	認知症サポーター養成講座について、参加者はどんな状況の人が多いのか？問題をすでに抱えているひが多いのか？
事務局	自分の身内に認知症を抱えている方が大半であったが、自分自身の将来を見据えて参加した方も複数人いた。また、介護施設や医療施設で働いている方も数名いた。
教育総務部長	認知症等については社会全体で支えていこうという動きがあり、福祉部でも養成事業を実施している。キャラバンメイト(職員の中にも資格を持っているものがある)と呼ばれる指導者が指導にあたり養成する事業である。
委員	博物館から資料提供をし、昔を思い出してもらおう回想法をやっているが、ふるさと研究ともタイアップしていく流れが重要である。
教育総務部長	回想法の効果は大きいものと思う。これから民俗資料館等も活用していく中で、これから開館を予定している未来館でも資料を利用していくことも考えられる。
委員	博物館は保存の観点から寄贈資料をむやみに持ち出せない足かせがある。今後は寄贈の段階で保存するもの、利用するものなど色分けすると良いのではないか。
教育長	ふるさと研究の資料等を未来館で、回想法に活用できると考えている。また、様々な語り部の集会でも使えるようにしていきたい。
委員	民俗資料については、NHKでもアーカイブスの分野で取り上げている。これからは実際に触れたり操作したりができることが必要だと考える。

教育長	認知症の患者やお年寄りから聞いてあげるといふ力も必要かと思う。
委員	成年後見人について、この3年で親族でない者の後見人(プロ)が増えている傾向がある。
教育長	生涯学習と認知症はこれから深い関係が必要な課題だと感じる。
委員(副会長)	センターも開設8年目を迎えるが、推進事業もだいぶ広がってきたなと感じている。こども対象の講座も充実してきた。対象者も広範囲になってきて感謝している。
議長(会長)	参加者の年齢層はどうなっているのか？
事務局(所長)	高齢者が圧倒的に多いのが現状である。参加者層をもっと広げたいと思っているが、試みの例として、自校の学生を育てたいという早稲田大学競技スポーツセンターと子どもや親子層を広げたいという利害が一致し、スポーツ体験講座を共催している。また、星空フェスティバルで市内の県立高校や市立中学校と連携し、実験工作や体験講座を行ったり、市民学芸員の協力で民具に触れられるコーナーを開設し世代間交流も広がった。
委員	事業の企画はどうしているのか？
事務局(所長)	今までの大学等との連携共催の蓄積も大きいと感じているが、企画段階から企画委員の意見や市民のニーズ、講師とのやりとりの中で決めている。
教育長	大学との関係として、秋草、早稲田など市民向けの事業を自前でもやっているが、市と共催していきたいという希望は大きいようである。子ども大学は近隣大学等の協力をいただいているところであるが、開校式などは早稲田大学のひな壇教室を借りて実施している。
議長(会長)	その他については、何かあるか？
事務局(所長)	センターも開設から8年目を迎え 条例にもセンターの運営方針に関する事について協議を行うと謳われているので、他に気づいた点等、意見をいただきたい。
委員	市民の要望は、どう把握しているのか？アンケート等か？
事務局	主に講座アンケートで把握しているが、資格取得講座などについては、カリキュ

委員	<p>ラムが多いので実施回数増の要望があったが、早速回数を増やした例がある。</p> <p>博物館、収蔵庫の見通しはどうか？</p>
教育長	<p>所沢市は、昭和57年ごろから人口が急増した経緯があるが、小中学校の建設費が増大し、その中で埋蔵文化センターについては、何とか建設できた。市政60周年の時までに何とか計画を起動に載せようとしたが残念ながら予算のことや緊急課題があり建設まで至らなかった。</p> <p>その後、学校耐震化に追われ、今後は、学校のトイレ改修、そして市民文化センターや学校の老朽化対策が控えている。</p> <p>議会でも賛成、反対意見様々がある中、市民文教委員会で議論したり他市の博物館、民俗資料館を視察したり検討している。</p> <p>市は、総合計画という8年間の計画があり、市の大きな事業を4年ずつ見直しながら進めていくものである。この計画の中には、博物館の建設について載っているが、「財政状況を鑑みて」ということになっている。</p> <p>教育委員会としても、かつてのような大きなハードものを作ることに限らず、いろいろな考え方があり、予算措置で何年度からというのは明記できないが今、回の市報にも載っているとおり企画展示等実質的な研究活動を粛々とやっていく中ですすめていくという考え方の一つとして、若手の人たちの自主学習という形でプロジェクトチームを作り検討を進めた。</p>
委員	<p>当初の考え方も、何が何でも大きなモノを絶対にという構想も持ってはいなかったと思うが、今後は、学校の空き教室活用も含め、市民ファーストで市民の心を動かしていき、所沢の文化行政を動かしていくことが期待される。</p>
教育総務部長	<p>現在、内部の動きとしては、若手職員のプロジェクトが今の所沢の課題をまとめた報告書も作っている。</p> <p>博物館もそうであるが、所沢の今の一番の課題は、貴重な歴史的資料が逸失してしまう危機感がある、そういった資料を保存することも重要なことであるので、できることからやっていくというようなことが報告されているのでぜひ参考としていただきたい。</p>
教育長	<p>委員の言うように展示するだけではないそこから学び取れるようなという発想での取り組みは、ここで現在、担当が実践的に始めている。</p> <p>また、市民学芸員についても、まだ主たる任務は見えてこないところもあるが養成している。葎子資料室も市民の方々が解説ボランティアを定期的にしており、そういった方々は、かなり勉強されているようなので、そういう仕組みもやってきた</p>

文化財保護課長	<p>いなと思っている。</p> <p>今後も、市民に地域の宝を理解してもらい、他の部局の職員にも十分理解してもらう活動が大事であると考えている。</p> <p>今後は市民に地域の宝を理解してもらってもっともっとPRし伝えていくような他の分野の職員にも理解してもらう活動が大事であると考えている。</p>
教育長	<p>所沢では11行政区があるが、地域では、すでに松井地区歴史文化遺産という活動も自主的に起こってきており、自分の地区の大事なものを検証しようという動きがある。いろいろな種をまいて11まちづくり協議会で郷土学習をやらせれば気運が生まれてくる。</p>
委員	<p>あくまでも文化財保護の観点で優先ではあると思うが、博物館活動もこれとリンクしてやっていくしかないだろう。</p>
議長(会長)	<p>他に何かあるか？</p>
全委員	<p>(全委員) 特になし。</p>
副会長	<p>これを持って審議会を閉会します。</p>